

令和5年度 高齢者あんしん相談センター ひだまりの庭むさしの 活動実績報告

| | | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------|-----|---------------------------------------------------|----------------------------------|------------|
| 総合相談支援 | 総合相談 | | 訪 問 | 581 件 | |
| | | | 電 話 | 1, 072 件 | |
| | | | 来 所 | 59 件 | |
| | 高齢者実態把握訪問（再掲） | | | 99 件 | |
| | 出前講座 | | | 0 回 （ ー 人） | |
| | 介護予防講座 | | | 1 回 （ 18 人） | |
| | 出張相談会 | | | 1 回 （ 2 人） | |
| | 地域ケア会議 | | | 圏域会議 ： 3 回 | 個別会議 ： 3 回 |
| | | | | 介護予防支援地域ケア会議(事例提出) ： 12 回 （ 4 件） | |
| | 関係機関との連携（会議出席・周知活動） | | | 11 回 | |
| | 見守りネットワーク 普及活動 | | 訪問活動件数 | 0 件 | |
| 承諾件数 | | | 事業所 ： 0 件 | | |
| 権利擁護(再掲) | | | 虐待 | 17 件 | |
| | | | 成年後見 | 0 件 | |
| | | | 消費者被害 | 0 件 | |
| 包括的・継続的ケアマネジメント | | | 担当者会議の出席（要介護者） | 0 回 | |
| | | | ケアマネジャーからの相談 | 31 件 | |
| ケアマネジャー研修会（包括主催） | | | 1 回 （ 67 人） 「100年を生きる介護物語～ケアマネジャーの日常から伝えたいこと～」 | | |
| 介護予防給付 | | 包 括 | 給付管理数(延数)・実人数 | 201 件 （ 24 人） | |
| | | 委 託 | 給付管理数(延数)・実人数 | 595 件 （ 57 人） | |
| 総合事業 | 介護予防 ケアマネ ジメント A | 包 括 | 給付管理数(延数)・実人数 | 257 件 （ 28 人） (うち事業対象者数 2 人) | |
| | | 委 託 | 給付管理数(延数)・実人数 | 341 件 （ 39 人） | |
| | 介護予防 ケアマネ ジメント C | 包 括 | 給付管理数(延数)・実人数 | 27 件 （ 4 人） (うち事業対象者数 3 人) | |
| 介護者支援 | | | 介護者教室 | 2 回 （ 19 人） | |
| | | | 介護者サロン支援 | 0 回 （介護者： ー 人） | |
| 認知症サポーター養成講座 | | | 養成講座 | 0 回 （ ー 人） | |
| | | | フォローアップ研修 | 0 回 （ 0 人） | |
| 認知症カフェ開催（参加延べ人数） | | | 6 回 （本 人： 7 人） (家 族： 0 人) (協力者等： 28 人) | | |
| 地域包括支援センター全体会議、管理者会議 | | | 12 回 | | |
| 認知症地域支援推進員会議 | | | 12 回 | | |
| 認知症初期集中チーム員会議の出席、アルツハイマーデーイベント参加等 | | | チーム員会議 3 回 | オレンジダイヤル 0 回 | |
| 生活支援体制整備推進会議の出席、事業の参加等 | | | 1 回 | | |
| 医療・介護連携会議、入退院支援ルール会議の出席、研修の参加等 | | | 2 回 | | |
| 介護保険事業推進委員会の出席 | | | 2 回 | | |
| その他の活動等 | 研修等の出席、事業の参加等 | | 4 回 | | |
| | ケアマネサロン「クラージュ」 | | 5 回 （ 80 人） | | |
| | 交通安全アドバイス | | 0 回 （ 0 人） | | |
| 地域行事などへの協力等 | | | 41 回 | | |

【活動内容総括】

令和5年度は地域の中の活動をコロナ前に戻そうとする動きがありました。地域のサロンや体操の会、地域ごとのお祭りなどもが再開された話がありました。

総合相談についても地域の方や民生委員さんからの情報提供も数多くあり、住民同士の行き来や民生委員さんの訪問活動に制限がなくなってきたことによるものだと思います。

日頃活動する中で、多職種他機関との連携を心がけていて、いろいろつながりを作ってきました。そんな中でも同じ活動をしている市内高齢者あんしん相談センターどうしであらためて協力関係をつくり、専門職同士の活動や協同のイベントを開催するなどができました。お互いに刺激になり、多くを学ぶことにもつながり、スキルアップとしても非常に有効だと感じました。